

第19回 名市大生物多様性研究センターセミナー

- 日時：平成24年8月8日（水） 午後7～8時
- 場所：名古屋市立大学 山の畑キャンパス
4号館（南棟）3階大講義室
- 講師：木藤新一郎 氏（名古屋市立大学システム自然科学研究科教授、生物多様性研究センター教員）
- 題目：『遺伝子組換え作物の現状 ～生物多様性に及ぼす影響～』

1994年に最初の遺伝子組換え作物「フレーバーセーバー」が市場に登場してから今年で18年経ちます。その間、遺伝子組換え作物の栽培は増加の一途を辿り、現在29カ国でダイズやトウモロコシを中心とした遺伝子組換え作物の商業栽培が行われています。もちろん、それら遺伝子組換え作物の一部は日本にも輸出されており、様々な加工食品に姿を変えて日々の食卓に上がっている可能性があります。あまり知られていませんが、食糧自給率が低い日本の食生活を支えているのは、遺伝子組換え作物であるといっても過言でない状況になっています。

本講演では、遺伝子組換え植物を扱っている研究者の視点で遺伝子組換え作物の現状を紹介すると共に、遺伝子組換え作物が抱える問題点や生物多様性に及ぼす影響（危惧されている点）等について紹介します。

山の畑キャンパスへの道順：<http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/location.html>

問合せ先：熊澤 慶伯（名市大システム自然科学研究科、電話：(052)872-5844）